

平成 29 年度 第 1 回福岡市美術館協議会 議事録

日 時	平成 29 年 8 月 9 日(水) 14:00～16:00
場 所	福岡アジア美術館 会議室
出席者	美術館協議会委員：後藤会長 外 計 13 名 福岡市美術館：錦織館長 外 計 11 名 福岡アジア美術館：靄田館長 外 計 7 名
議 題	1 福岡市美術館 平成 28 年度事業報告について 2 福岡アジア美術館 平成 28 年度事業報告について 3 その他

1. 開 会

2. 挨拶 (錦織福岡市美術館館長)

3. 議 題

(1) 福岡市美術館 平成28年度事業報告について(事務局)

(2) 福岡アジア美術館 平成28年度事業報告について(事務局)

(3) 質 疑 事 項 以下のとおり

会 長	福岡市美術館の特別企画展「歴史する！Doing history！」や福岡アジア美術館の常設企画展「アート横断シリーズV 創造のエコロジー」が印象的で、学芸員の眼差しが伝わる企画であると感じた。各委員の所見はどうか。
委 員	福岡市美術館のクロージングについては、関係者だけではなく、市民が多く参加しているのを目の当たりにし、胸が熱くなった。福岡市美術館の職員は、引き続きリニューアルに向けて頑張ってもらいたい。 福岡アジア美術館の美術作家の招聘については、期間が従前よりも長くなったことで内容が濃く、広がりを感じさせる内容になっていた。また、展示場所が7階に変更になったことも良かったように思う。 福岡アジア美術館の常設展観覧者数の増加の要因について、確認したい。
事務局	例年と比較すると、全体的に増加傾向にあるが、特に篠山紀信展の期間中は、展覧会の半券を使用して、4割程度が常設展を観覧していることが、大きな要因と考えている。
事務局	クロージングイベントについては、福岡市美術館の地域のミュージアムとしての位置付けを実感できる機会となった。37年間支えてくれた市民へのお礼として美術館のグッズの福引を行ったほか、現代美術の作品として音頭を制作した。
事務局	委員の発言にあったように参加者からも、「参加者が多く、胸が熱くなった」等と言われた。多くの方が美術館に関心を向けていることに対する嬉しさと同時に責任の重さを感じている。これをリニューアルに繋げていきたい。

委員	盆踊りについては、練習時間が長かった。事前に練習を行う等の改善の余地があるように思う。
事務局	当日は機材の不具合等もあり、申し訳なかった。今後の教訓とさせていただきます。
委員	委員に就任したことをきっかけに、福岡市美術館の企画展に足を運んでみたが、観覧者が少なかった。広報に力を入れるなどして、改善してもらいたい。 アジア美術館と違い、福岡市美術館は徒歩での移動があり、高齢者は行きづらい。地域団体が貸切バスで来ている事例もあるが、もう少し足を運ぶようにしたいと思う。
委員	福岡アジア美術館が実施している現代作家のアート、パフォーマンスのワークショップ等については、児童・生徒の興味・関心と合致しているとは言い難い。教師側がアジア美術に関する理解を持ち、授業の中で児童・生徒に興味を持たせることができればよいのではないかと思う。 福岡アジア美術館の学芸員が講師となった研究会の開催や資料の作成は可能か。
事務局	公民館等については、要望に応じ、アジア美術の魅力に関する出前講座を実施している。学校現場の要望にも対応していきたい。 また、鑑賞教育や作家が行うワークショップに参加できる「スクールプログラム」を実施しており、今年の8月から学校の教員を対象とし、これらの福岡アジア美術館の取組等を紹介する機会を設けることとしている。
委員	中学校の美術の教員約100名が会員となっている研修が年に1度、8月の前半に開催しているので、その機会を活用してもらいたい。
委員	研修等を経て、美術館から先生方を通じて、コレクションの面白さ等を広めていくことは効果的であると思う。欧米では、先生・学生と一緒に美術館を訪れて、作品鑑賞をしている事例があり、そのようなことができればよいと思う。
委員	以前は福岡市においても、小中学校を対象に、博物館を含めた3館の見学のためのバスが無料で貸し出されていたが、現在は予算削減と授業時間数の関係から施設見学が下火になっている。また、美術教育として施設見学をすることは難しくなっており、最近では総合的な体験学習の一部と位置づけて訪問することもある。
会長	私立の美術館ではどうか。
委員	私立の美術館にとっても、「子ども」は最大の関心事であり、積極的に地域の小中学校を回る外、教育委員会との連携を図っているところである。 私立の小学校・幼稚園等はフットワークが軽く、先生からの手紙や電話を貰ったことをきっかけに、ダイレクトにワークショップができる等という事例もある。子供向けの教材は必要なく、一般向けの図録を熱心に見入っていた。その後、子どもが親とともにリピートして来館するという状況が近年続いており、ひいては地域のつながりや愛着、アイデンティティの形成につながっていくように思う。

会 長	先生方の役割は大きい。
委 員	まずは、内容を知ってもらうことが必要なので、企画展の図録を各校に送ってはどうか。
委 員	先生方の意識が向いていないということがあるので、やはり研修が必要だと思う。福岡市がなぜアジアの芸術を重視しているのかということを知ってほしい。
委 員	福岡アジア美術館の意義を感じている教員は少ないように思う。会議に参加してみると、様々な事業が展開されていて、驚いた。 国や県からの事業の案内・パンフレットは多く届くが、子どもたちに広げていくには、先生個人によるところが大きいように思う。
委 員	子どもは毎週のように沢山の案内・パンフレットを持って帰ってくるが、全てに行けるわけではないので、その中から子どもが興味を持ちそうなものを選んでいく。子どもが親に行こうよというようなチラシを作れば、より良いと思う。
委 員	子どもが小学生の時に、PTAの活動の中で毎年実施されている保護者向けの講演会があった。「子どもの健康」や「携帯・スマホの利用」「人権」等のテーマで市内在住の講師リストから、年2回講演を依頼していた。そのリストに学芸員も掲載してもらい、教育と美術をテーマに保護者向けに話をしてはどうか。
会 長	学校教育と美術館を中心に意見が出たが、それ以外で意見はあるか。
委 員	活動のユニークさや社会的なニーズからすれば、福岡アジア美術館は研究紀要を作成すべきであると考えているが、いかがか。また、現在、東京で大規模な東南アジアの現代美術展が開かれており、アジア美術館にも規模を縮小して巡回されるようだが、トリエンナーレの進捗状況はどうか。
事務局	紀要については、予算措置が困難な状況が続いている。2019年度が開館20周年となるので、20周年記念の特別企画コレクション展カタログで兼ねるなど考えたい。 トリエンナーレについては、アジアの特化した独自性、市美時代から継続している歴史性・先駆性等、国際的に類を見ない展覧会と自負しているが、過去5回開催していることや財政状況、アジアの現代美術をめぐる状況の変化等を踏まえ、実施の間隔や手法を見直す時期になったと感じている。そのため、今年度は東南アジアの現代美術に絞ったサンシャワー展を福岡アジア美術館に巡回させ、次の2020年度のオリンピックの年に、他の部署と連携して、充実した内容でアジアの現代美術を紹介できる方策を検討していきたい。
委 員	福岡市美術館が行った常設展「This Is Our Collection／これが私たちのコレクション」については、コレクションが素晴らしいと感じたが、福岡アジア美術館の常設展も面白い。 アニッシュ・カプーアは、展示場所が福岡市美術館から福岡アジア美術館に変わったことで印象が変わった。見せ方、光のあて方で、より良い展覧会がつくっていただけるのではないかと思う。 今年福岡アジア美術館のボランティアガイドの解説を申し込んだが、たまたまかもしれないが、作品についての知識や説明内容が良くなく、非常に残念に感じた。ボランティアスタッフの活用も良いが、一定の水準を確保する必要がある。

委員	<p>また、以前から提案している財源の獲得については、両館から回答がないため、議論が深まらない。必要があれば、半年に一度の会議ではなく、別に小委員での会議の開催等も検討していただきたい。</p> <p>また、会議の度に各委員から様々な指摘がなされているが、その指摘に対して、次回の会議までに美術館側で今後どう対応するか、どのように考えて行っていくかなどの回答がないため、また次回の会議で同じ指摘を行うなど、建設的な議論の積み上げが出来ていない。建設的な会議にするためにも、会議の指摘事項に対して、美術館側での検討事項と実施事項などを記載して、次回の会議までに報告して欲しい。</p> <p>なお、過去の福岡市美術館協議会の議事録がホームページで閲覧できなかったため、確認いただきたい。</p>
事務局	<p>福岡市美術館では、恒常的な予算確保が難しい中で、リニューアルや2020年のオリンピックイヤーを機とした作品購入や作品展示・キュレーションを検討している。</p>
事務局	<p>福岡アジア美術館では、2019年度が20周年にあたることから、全館を使ったコレクションの展示を検討しているが、新たな作品の購入予算については協議中であり、決まっていない。</p> <p>ボランティアガイドについては、ご迷惑をおかけして申し訳ない。</p> <p>新規のガイドボランティア20名程は、半年間の養成期間を設けて訓練する等の対応をしたが、今後もフォローアップ研修等により対応していきたいと考えている。</p>
委員	<p>福岡市からの財源確保が難しいのであれば、それ以外からのファンドレイジングを検討する段階にあると思う。</p> <p>次回の会議では、本日出された意見に対する議論から始めてもらいたい。</p>
会長	<p>本日は、社会教育・学校教育と美術館を中心として議事を進行してきた。次回の美術館協議会については、以前から委員が提案しているように、ファンド・美術品の購入予算から会議を始めてはどうかと思う。</p> <p>終了時刻となったため、以上としたい。</p>

4. 挨拶（鶴田福岡アジア美術館館長）
5. 閉会